



1月13日 | 大人としての誓いを胸に

成人の日を前に市民会館で成人式が開かれ、出席した約850人の新成人たちは、色とりどりの晴れ着や袴などを身にまとい、成人としての第一歩を踏み出しました。

式では、北島一輝さんと渡辺若菜さんが、新成人を代表して誓いの言葉を述べました。また、第2部のアトラクションでは、新成人も参加しての大道芸と、神保彰さんによるドラム演奏が、式を盛り上げてくれました。

1月7日 | 新年の無病息災を祈願

千葉山智満寺で、正月を締めくくる伝統行事「鬼払い」が行われました。鬼払いは、暗闇の本堂の中で暴れる鬼を、読経で退治することで、1年間の無病息災を祈願します。

人の煩惱を表す「青・赤・白」の鬼は、やがて読経に屈して本堂の外へ退散。その際に投げる松明の燃えさしは、「魔除け」になると信じられており、多くの参拝客が、熱心に拾い上げていました。



1月18日 | 都市提携への機運を高揚

FM 島田の人気番組がスタジオを飛び出す「リアル韓流カフェ」が、プラザおおりで開催されました。

「韓流カフェ」は、毎週、韓国文化や習慣を楽しく紹介するFM 島田の人気番組。パーソナリティーで市都市交流職員のチェ・ボックムさんらが講師となり、伝統的なお辞儀や最近の流行などを紹介しました。参加した約40人は、韓国茶を飲みながら談笑し、両国の理解を深めました。



1月4日 | 防火への決意を新たに

島田市消防団の各分団が参加する島田市消防出初式が、島田球場やプラザおおりなどで行われ、団員ら約600人が、防火への決意を新たにしました。

恒例のパレードでは、隊列がラッパ隊の演奏に合わせて、市役所からJR 島田駅まで、消防車両約20台と共に行進。一糸乱れぬ動きで、消防団の団結力や規律を、見学する市民に披露しました。



1月26日 | 郷土の宝を火災から守る

国の定める「文化財防火デー」に合わせて、薬師堂と堂内の天井画が県文化財に指定されている金谷古横町の医王寺で、火災防御訓練が行われました。

訓練には、市消防本部や市消防団に加え、自主防災会の地元住民も参加。住民が119番通報に続けて、薬師堂から非常持ち出し品を運び出すと、駆け付けた消防署員と消防団員が、素早く一斉放水を開始しました。

1月27日 | わがまちの職業を体験

市内の商店などで、子どもたちが職業体験できる「こどもわくワーク」が開催され、小学1年から3年までの児童68人が、さまざまな職種の仕事を体験しました。

協力店の酒造では、日本酒の造り方を一通り学んだ後、慣れない手つきで瓶にラベルを貼る作業を手伝いました。作業を終えた児童たちは「楽しくできた」「おいしく飲んでもらいたい」と満足げに話してくれました。

